

※ 必ず場所がわかる位置図を添付してください。

※ 除外が認められるためには「農用地区域外の区域内の土地をもって代えることが困難」と認められる必要があります。そのため、選定条件、他の候補地の有無、申出地でなければならない理由等、選定理由が妥当である必要があります。

## 土地選定経緯書

### 記載例

#### ○選定条件

- ①面 積・・・申出書、土地利用計画図のとおり〇〇〇㎡以上の土地
- ②区画形状・・・利用性を高くするため、平坦性が高く、整形な土地
- ③接 道・・・出入りのため、幅員〇m以上の公衆道路に接している土地
- ④給排水・・・給水・排水のため、〇〇から近隣の土地

#### ○土地選定表

候補地					選定条件				総合判断	備考
	町名	地番	地目	面積	①	②	③	④		
A	〇町	1-1	田	〇〇㎡	○	×	×	×	×	白地
B	〇町	2-1	雑種地	〇〇㎡	×	×	×	×	×	市街化区域
C	〇町	3-1	田	〇〇㎡	○	○	○	×	×	青地
	〇町	4-1	雑種地	〇〇㎡						白地
D	〇町	5-1	畑	〇〇㎡	○	○	○	○	○	青地

#### ○比較検討

候補地 A・・・必要面積の確保は可能であるが、土地が傾斜地であるなど区画形状が悪く、当該地への侵入道路も大型車両の通行が厳しい状況にある。また、当該地は上水道からの給水も困難な状況にある。

候補地 B・・・当該地は面積が狭く、区画形状も不整形な土地である。4 m以上の道路に接続してはいるが未舗装な状況である。さらに上水道からの給水が困難な状況である。

候補地 C・・・当該地は2筆を合わせると面積も十分に広く、比較的平坦な土地である。4 m以上の市道に接続している土地であるが、上水道からの給水が困難な状況にある。

候補地 D・・・当該地は、必要面積が確保できる平坦な土地であるとともに、市道に接続しているため、大型車両の進入も容易な土地である。

上記、土地状況を踏まえ、選定条件により比較検討した結果、**候補地 D**を選定した。